

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24131	
事業名	歯周疾患検診費						
評価担当課	所 属	保)ウェルネス ウェルネス推進			電話番号	211-3516	
施策名	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	歯周病は歯を失う最大の原因であるが、全国平均に比べ、札幌市では歯周病の有病率が高く、成人期の4～6割の市民が歯周病に罹患している。そのため、札幌市において成人期の歯周病の早期発見、早期治療は急務である。					
	事業内容(何を実施し)	健康増進法に基づく歯周疾患検診(満40歳・50歳・60歳・70歳の節目年齢対象)を(一社)札幌歯科医師会に委託実施。対象市民への受診券送付することで歯科受診機会の提供を行う。 ①検診委託費 ②市内指定歯科医療機関への帳票類、マニュアル等作成と郵送 ③受診券ハガキの作成費等 ④事務費					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民が歯周病を早期発見し、歯科医院で重症化予防を行うことで歯の喪失を防ぐ					
	他都市の状況	歯周疾患検診は全ての政令指定都市で実施している。 歯周疾患検診の補助金の対象年齢に20歳、30歳が追加されたことに伴い、政令指定都市においても8都市(仙台市、千葉市、浜松市、名古屋市、大阪市、堺市、北九州市、熊本市)で20歳、30歳を対象に入っている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外					
	令和4年度決算額	28,369 千円	うち特定財源	6,696 千円	正規職員業務量	0.5 人工	
令和5年度予算額	31,208 千円	うち特定財源	7,597 千円	正規職員業務量	0.5 人工		
令和5年度決算額	26,893 千円	うち特定財源	5,405 千円	正規職員業務量	0.5 人工		
令和6年度予算額	37,202 千円	うち特定財源	9,411 千円	正規職員業務量	0.5 人工		
指標	アウトプット活動指標1	歯周疾患検診受診率				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3.13%	5.00%	2.99%	5.00%	5.00%	5.00%
	↓						
	アウトカム成果指標1	60歳で24本以上の歯を持つ者の割合の増加				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		87.10%	87.70%	87.80%	88.30%	88.90%	89.50%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標の実績値は目標値に及んでいないため、歯周疾患検診の周知啓発に力を入れる必要がある。一方で成果指標の実績値はアクションプラン2023推進事業調書で設定した目標値を超えている。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	歯周疾患検診の活動指標の改善、向上のために個別通知ハガキの記載方法にナッジを活用した。						
来年度以降の方向性	歯周疾患検診の補助金の対象年齢に20歳、30歳が追加されたことに伴い、札幌市においても対象年齢の拡大を目指す。そのため20歳、30歳への歯周疾患検診の普及啓発に取り組む他、既存の歯周疾患検診対象者への受診勧奨を実施する。						